

いんない石橋マップ

日本一の石橋のまち・宇佐市院内町



宇佐の特産物と情報が満載 道の駅いんない

ふるさとのまごころ発信



まごころのこもった特産品や、山の幸をつかったレストラン。ここから、院内のホットな情報を発信します。



オオサンショウウオの生息地「院内町」

日本の生息地の南限として、九州では唯一宇佐市院内町に存在するオオサンショウウオ。国の天然記念物にも指定され、3000万年前の化石と今の姿がほとんど変わっていないことから「生きた化石」と言われています。両生類最大の生き物であり、大きいもので全長150cmを超えるものも確認されています。

道の駅いんない

院内めぐりは、まずここで情報収集を。石橋の解説やパンフレットなど、院内の豊富な情報を発信しています。また、おみやげに最適な朝採りの新鮮な野菜や果物をはじめ、院内の特産ゆずをつかった品々など、真心のこもった逸品が満載。レストランいしばし茶屋では、どじょう鍋、宇佐からあげ、だんご汁など、宇佐市ならではのメニューが人気です。

道の駅いんない

TEL・FAX(0978)42-5539
営業時間/8時から18時
定休日/なし、年中無休
宇佐市院内町副1381の2

日本一の石橋のまち・院内

地勢と水系と匠たち

その数75基。宇佐市院内町は日本一を誇る石橋のまちです。これらの石橋は、江戸時代の終わりから昭和のはじめにわたって架けられました。

院内町に石造アーチ橋が多いのは、いくつもの深い谷に集落が点在するという地形上の理由と、川が急流で、木橋では流されてしまうため石橋が求められたという背景があります。もともと院内では谷あいの段々畑を区切る石垣や水路をつくるため、石工の技術が男たちに必要とされていました。名棟梁・松田新之助に代表される優れた院内の「匠の技」が、「日本一の石橋のまち」をつくった大きな力となったわけです。

ふだんは足元にあってなかなか気づかない石橋。そのドラマは、ただ橋を渡っているだけでは見えないでしょう。視点を変え、たもとからじっくりと見上げたとき、石橋はわたしたちに語りかけてくれます。…石橋のアーチは、人と人をつなぐふれあいのアーチであるということを…

名工・松田新之助

●石橋づくりにかけたロマン

鳥居橋や荒瀬橋など、院内を代表する石橋を10基以上も架けた名棟梁・松田新之助(1867~1947)。彼は父の土木工事を手伝うため関西でアーチ設計の技術を学び、帰郷した後は、院内の地形にあった石造アーチ橋の架設に情熱を注ぎました。

1924(大正13)年、架設中の富士見橋が、突然大きな音とともに崩落。しかし新之助は私財を売り払い、名工としての意地と信念で再び架設、翌年には見事に富士見橋を完成させました。石橋づくりに生命を燃やした「石工の魂」を伝えるエピソードは、今も私たちの胸をうってやみません。



●宇佐市内その他の石橋

1 とくしん橋 Tokusin Bridge (県指定有形文化財)
所在地:宇佐市大字山本 架設年:延享2年(1745年)
鷹栖観音堂の下流で駅館川に合流する社ヶ谷川に架かる桁橋。県内最古の石橋と考えられており、名前は橋を架けた僧の名からつけたと推測される。



3 父の背橋 Chichinose Bridge
所在地:宇佐市院内町柳野 架設年:平成23年9月(2011年)
地域の石橋文化を次代に伝えるため、院内北部小学校の父親部が中心となって4年をかけて親子、地域で造られた石橋です。



2 今井橋 Imai Bridge (市指定有形文化財)
所在地:宇佐市安心院町大 架設年:大正12年(1923年)
今井地区の酒造業佐藤氏の計画により架設された石橋。院内町の石橋とは対照的な短い橋脚が特徴の均整の取れた美しい3連アーチ橋である。



お問い合わせ/
宇佐市院内支所 産業建設課 大分県宇佐市院内町山城39番地
TEL:(0978)42-5111 FAX:(0978)42-5115
宇佐市観光・ブランド課 大分県宇佐市大字上田1030番地の1
TEL:(0978)27-8171 FAX:(0978)32-2324
(一社)宇佐市観光協会 大分県宇佐市南宇佐2179-3
TEL:(0978)37-0202 FAX:(0978)37-0601
発行/宇佐市

※小学校敷地内のため、見学には許可が必要となります

日本一の石橋のまち
いんない石橋マップ

積み重なる匠の技とロマン



荒瀬橋 Arase Bridge (市指定有形文化財)
完成後しばらくの間は有料とされ、県下では第一号の有料橋でした。長い橋脚と美しい2連アーチを描く石橋で、橋高は18.3mと院内町最高の高さを誇っています。(夜間ライトアップ)



分寺橋 Buji Bridge (市指定有形文化財)
当初、大正時代に架設されましたが、昭和20年に大改修がされた3連のアーチ橋です。戦争真っ最中の改修にも関わらず、均整に彫刻された石がていねいに積み上げられています。



御沓橋 Mikutsu Bridge (県指定有形文化財)
橋の長さが59mと、院内町最長を誇る3連アーチ橋。大正14年に架設されたこの橋は、当時のモダンなセンスが活かされています。川面に映しだされた姿も幻想的。(夜間ライトアップ)

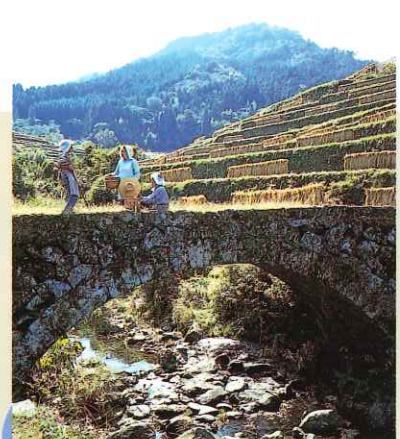


富士見橋 Fujimi Bridge (市指定有形文化財)
橋の上に立つと豊後富士(由布山)が遠くに見えることから、この名がつけられました。この橋は工事半ばに崩落しましたが名棟梁・松田新之助が、意地と信念により私財を投じて完成させたという逸話を持っています。

鳥居橋 Torii Bridge (県指定有形文化財)
すらっと天に伸びた優美な橋脚から、気品さえ感じさせる院内の代表的な石橋で、「石橋の貴婦人」とも呼ばれています。深い谷に点在する集落を5連のアーチがリズムカルに結んでいます。(夜間ライトアップ)



打上橋 Uchiagari Bridge (市指定有形文化財)
現存する院内の石橋のなかで最も古い、江戸時代末の文久3年に架設された石橋。橋の下には、打上水路橋が架けられています。



両合川橋 Ryoaigawa Bridge (国登録有形文化財)
棚田の広がるのどかな景色にとけ込んだこの橋は、小平地区と滝貞地区の谷川が合流する地にあるため、この名で呼ばれるようになりました。



久地橋 Kyuchi Bridge (市指定有形文化財)
両端を大桁の石2本で渡し、厚さ15cmの重厚な板石が16枚も並べられた、県下でも珍しい桁橋です。右岸は桁石を支えるため石組みが施されています。



一の橋 Ichino Bridge (市指定有形文化財)
山神社への参道で、北山川に架かる石橋です。規模は小さいながら側壁に自然石を使用した整った姿は、緑豊かな周囲の景観になじんでいます。



福厳寺羅漢橋 Fukugonji-rakan Bridge
十王像や羅漢像、牛頭・馬頭像、観音像などが安置された福厳寺閻魔洞(市指定史跡)へつながる参道にかけられた石橋です。



西光寺橋 Saikoji Bridge (市指定有形文化財)
この橋は、江戸時代末に建立された西光寺(現在は廃寺)の参道として使われてきました。側壁は、自然石を使用しています。

いんない 石橋めぐり



大分自動車道

九重町

別府 大分 阿蘇 湯布院町 湯布院

- 先人達の技と情熱を伝える “ごころの架け橋”
- 1 一の橋
 - 2 界橋
 - 3 北山水路橋
 - 4 馬水谷水路橋
 - 5 鳥居橋
 - 6 松木橋
 - 7 香下神社第一神橋
 - 8 香下神社第二神橋
 - 9 香下神社稲荷橋
 - 10 柳野橋
 - 11 打上水路橋
 - 12 打上橋
 - 13 家原橋
 - 14 谷橋
 - 15 宮の上橋
 - 16 神通橋
 - 17 御飯屋橋
 - 18 渡谷橋
 - 19 小稲橋
 - 20 橋詰水路橋
 - 21 長六橋
 - 22 新大船橋
 - 23 大重舟橋
 - 24 御笠橋
 - 25 福蔵寺羅漢橋

- 26 荒瀬橋
- 27 大副水路橋
- 28 大副池橋
- 29 水雲橋
- 30 久地橋
- 31 原口水路橋
- 32 上出平橋
- 33 山の迫水路橋
- 34 五名神橋
- 35 日岳橋
- 36 宇土橋
- 37 富士見橋
- 38 鷹岩橋
- 39 中島橋
- 40 宮の瀧橋
- 41 蛙橋
- 42 景平橋
- 43 記念橋
- 44 屋敷の原橋
- 45 田の原橋
- 46 経路橋
- 47 院内橋
- 48 トイノモト橋
- 49 西光寺橋

- 50 月呉神橋
- 51 榎本橋
- 52 宮地嶺橋
- 53 大畑橋
- 54 飯塚橋
- 55 小野谷橋
- 56 裏谷橋
- 57 出口の橋
- 58 フネガモト橋
- 59 西合川橋
- 60 分寺橋
- 61 土岩屋橋
- 62 コチハサコ橋
- 63 シリナシ橋
- 64 椎木橋
- 65 宇土川橋
- 66 和田川橋
- 67 野地橋
- 68 中鍋橋
- 69 飛石橋
- 70 念仏橋
- 71 葛灰橋
- 72 打上川板橋

- 73 景平橋
- 74 陸橋
- 75 宮の瀧橋
- 76 中島橋
- 77 上出平橋
- 78 原口水路橋
- 79 久地橋
- 80 富士見橋
- 81 水雲橋
- 82 龍岩寺
- 83 龍岩寺茶屋
- 84 龍岩寺三尊像
- 85 龍岩寺十二神将像
- 86 龍岩寺
- 87 龍岩寺
- 88 龍岩寺
- 89 龍岩寺
- 90 龍岩寺
- 91 龍岩寺
- 92 龍岩寺
- 93 龍岩寺
- 94 龍岩寺
- 95 龍岩寺
- 96 龍岩寺
- 97 龍岩寺
- 98 龍岩寺
- 99 龍岩寺
- 100 龍岩寺

